

日本海中部海域広域海底地質図

玉木賢策・本座栄一・湯浅真人・
西村清和・村上文敏

- ・ 本図は大和堆 大和海盆の全域および日本海盆の一部を含む。 海洋地質図シリーズ No. 13 14 と合わせて使用すれば 日本列島側の日本海の全体像を把握することができる。
- ・ 大和海盆と日本海盆は基盤の深さ 堆積物の厚さの点で異なる。 それらは 本図の基盤等深度線図および等層厚線図から理解できる。 大和海盆は日本海盆に比べて堆積層もうすく また基盤深度も浅い。 このことは大和海盆が日本海盆よりも形成時期が新しいことを物語るのでないだろうか。
- ・ 有名な富山深海長谷は富山湾に源を発し 大和海盆を駆けぬけ日本海盆へ至る。 富山湾から大和海盆への出口では深海扇状地が形成され それを富山深海長谷が蛇行しながら

開折している。 大和海盆から日本海盆への出口にももう一つの深海扇状地が見られる。 富山深海長谷は深海における堆積機構解明のための絶好のフィールドであろう。 今後の各方面からの調査が期待される。

- ・ 大和堆と北大和堆では地質が大きく異なる。 北大和堆は大部分が先第三系の花崗岩質岩からなり 大和堆は中生代から新第三紀までの火山岩からなる。 両堆の間の北大和トラフは顕著な地溝構造をなす。 日本海拡大開始期のリフトの名ごりかもしれない。
- ・ 日本海盆 大和海盆には 第四紀に入っての変動は顕著ではないが 日本列島よりの奥尻-佐渡海嶺および最上トラフでは 第四紀に入っての変動が顕著に見られ興味深い。

